

久山町

保存版

ハザード

マップ



家族で、地域で、
いざという
時のために!

「知らなかった…」では済まされない。

正しい予備知識と少し早めの判断が自分や大切な家族を
守ることに繋がります。

防災対策は万全ですか？

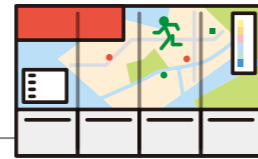
災害から身を守り、被害を最小限に食い止めるには、日頃の備えがとても大切です。

この防災マップには、防災に関する情報をはじめ、避難所の位置や浸水被害・土砂災害が発生する危険のある個所を地図上に示しています。

災害に備えて必要となる情報は何か、被害を回避するためにはどのように行動すべきか、家庭や地域の防災対策に役立ててください。

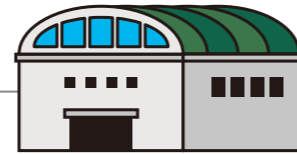
ハザードマップの使い方

- 1 自宅の位置を確認しましょう**
災害が想定される位置を確認しましょう。自宅がある場所は、どのような災害が予想されるのかを、地図をみて確認しましょう。



- 2 自宅付近の避難所を確認しましょう**
自宅に一番近い、災害に応じた避難所を地図で確認しましょう。

- 3 災害想定区域を避けて、避難経路を決めましょう**
避難経路を地図で確認し、土砂災害や津波などの災害が想定される場所を避けて避難できるようにしましょう。



- 4 実際に避難経路を歩いてみて、安全を確認しましょう**
家庭や地域で話し合いながら、実際に歩いてみましょう。避難経路に危険な場所がある場合には、避難経路を見直しましょう。

※この防災マップの「想定最大規模降雨」は、9時間総雨量が667mmを想定したものです。

目次

● 指定避難所・指定緊急避難場所一覧表	P.1	● 火災	P.11
● 避難時に注意すること	P.2	● 避難情報の種類ととるべき行動	P.12
● 非常時持出品の準備 & チェック	P.3	● 防災対策 & チェック	P.13
● 感染症対策	P.4	● マイ・タイムラインの作成	P.14~17
● 地域での日頃の備え：共助	P.5	● 久山町（全域図）	P.18~19
● 地震	P.6	● 久原小学校区マップ	P.20~21
● 地震揺れやすさマップ	P.7	● 山田小学校区マップ	P.22~23
● 風水害・洪水・台風	P.8~9	● 情報収集	P.24
● 土砂災害	P.10	● 防災メモ	裏表紙

指定避難所・指定緊急避難場所一覧表

指定避難所

項番	名称	住所	電話番号
1	久原小学校	大字久原3479	092-976-0008
2	山田小学校	大字山田210	092-976-0170
3	久山中学校	大字久原3553-3	092-976-0015
4	猪野かみじ会館	大字猪野1258	092-976-1313
5	上山田いつき会館	大字山田685-4	なし
6	藤河黒河集会所	大字山田2525	なし
7	下山田公民館	大字山田1725-1	092-976-0473
8	大谷集会所	大字山田2793-32	なし
9	小浦台集会所	大字山田1930-27	なし
10	草場集会所	大字山田393-156	なし
11	上久原集会所	大字久原887	092-976-3253
12	中久原新建会館	大字久原2418-2	092-976-3413
13	東久原集会所	大字久原1843-71	092-976-1821
14	レスポアール久山	大字久原2603-1	092-976-2444
15	久山町高齢者交流センター	大字久原1080-3	092-976-1137
16	勤労青少年ホーム	大字久原3505	092-976-1847
17	町民体育センター	大字久原3554-1	092-976-2368
18	久山会館	大字久原3553-1	092-976-2624
19	久山町ヘルスC&Cセンター	大字久原1822-1	092-976-3377



指定緊急避難場所

項番	名称	住所	電話番号
1	久原小学校グラウンド	大字久原3479	なし
2	山田小学校グラウンド	大字山田210	なし
3	久山中学校グラウンド	大字久原3553-3	なし
4	総合グラウンド公園	大字久原字井牟田	なし
5	上山田児童公園	大字山田字南	なし
6	下山田児童公園	大字山田字中原田	なし
7	上久原児童公園	大字久原字橋本	なし
8	中久原児童公園	大字久原字前田	なし
9	下久原児童公園	大字久原字久保	なし
10	東久原児童公園	大字久原字堀田	なし
11	山内公園	大字久原字山ノ内	なし



避難時に注意すること

戸締り・ガス・火元・電気のチェック

避難の際は、火の始末と戸締りを行いましょ。また、通電火災を防止するため、ブレーカーを落としましょ。避難時の持ち出し品は必要最小限になるようまじめましょ。



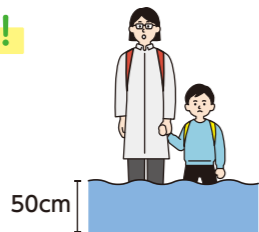
速やかに避難を!

動きやすい格好で、2人以上で避難しましょ。災害に巻き込まれる可能性があるため、忘れ物などを取りに、家に帰らないようしましょ。

洪水・土砂災害での避難の仕方

歩ける深さに気をつける!

歩ける深さは平均約50cm。水がひざまで来たら助けを呼び、高い所で救助を待ちましょ!



ロープでつながる!

はぐれないようお互いの身体をロープで結んで避難しましょ!

また、水面下には危険が潜んでいます。長い棒を杖がわりに安全確認をしてくださし。

履き物に注意!

裸足、長靴は禁物です。ひもでしめられる運動靴が良いでし。

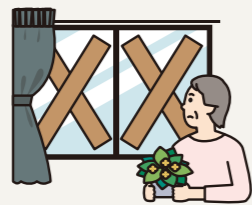


直前対策!台風の進路にあったら

雨や風が強くなる前に余裕をもって対策を!

屋外では

- 物干し竿や物干し台は寝かせ、自転車なども風で飛ばされないよう柱などに結びつけておく。
- 庭木に支柱を立てたり、風で飛ばされそうな植木鉢やゴミ箱などは屋内に入れておく。
- 側溝にたまった落ち葉などを取り除き、排水を良くする。雨どい・雨水ますの掃除もして置く。
- 窓や雨戸をしっかり閉め、外側から板などで補強しておく。
- かわらやトタンが飛ばされないよう補強しておく。
- 浸水の危険がある場合は、日頃から土のうなどを準備しておく。



屋内では

- テレビやラジオなどの気象情報に十分注意する。
- 浸水に備えて、家財道具や食料・衣類・寝具などの生活用品は高い場所へ移動させ、貴重品などの非常持ち出し品を準備する。
- 懐中電灯や予備の電池を準備する。
- 断水に備えて、飲料水を確保する。浴槽に水をはるなどしてトイレなどの生活用水も確保する。
- 外からの飛来物の飛び込みに備えて、カーテンやブラインドは下ろしておく。



車での避難は控える!

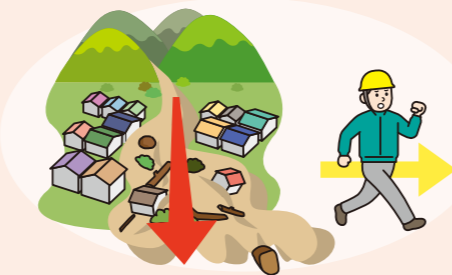
緊急車両の通行の妨げになります。浸水すると動けなくなりまので危険です。



もしも、土石流に遭遇したら

逃げ方に注意しましょ!

土石流は流れるスピードが速いため、流れを背にして逃げたのでは追いつかれてしまします。土砂の流れる方向に対して、直角に逃げる等、逃げ方に注意しましょ。



非常時持出品の準備&チェック

避難するとき最初に持ち出すのが「非常時持出品」。

災害直後から混乱が収まるまでの数日間、自給自足するための物資が「備蓄品」です。以下は一例です。とくに非常時持出品は、持って逃げられる量にしましょ。(男性15kg 女性10kgが目安)

非常時持出品

●とっさの場合に持ち出せるようにリュックサックにつめておきたい

貴重品

- 現金
- 通帳
- 印鑑
- 家や車の予備鍵
- 証書類のコピー

情報収集用品

- 携帯ラジオ (予備の電池)
- 携帯電話 (スマートフォン) の充電器
- モバイルバッテリー
- 筆記用具

非常飲食品など

- 非常食 (乾パン、缶詰など)
- 飲料水
- 給水袋
- 万能ナイフ
- 食器



衛生用品(コロナ対策用品)

- 救急セット
- タオル
- マスク
- 消毒液
- 体温計
- トイレトーパー
- ハンドソープ、固形石けん
- ウェットティッシュ

- ビニール袋
- 下着類
- 着替え用衣類
- 生理用品
- 歯ブラシ
- 入歯洗浄剤
- ビニール手袋

安全用品

- 懐中電灯 (予備の電池)
- ヘルメット、防災ずきん
- 軍手
- スリッパ

- 笛やブザー ※居場所を知らせるもの
- マッチ、ライター
- 毛布、保温シート
- 使い捨てカイロ

備蓄品

●少なくとも3日 (できれば1週間) は自力で生活できるように準備

- 飲料水 ※1人1日3ℓ
- 食品 ※アルファ化米、長期保存食品など専用品の他、下記ローリングストックの活用を
- 給水用ポリタンク、バケツ
- カセットコンロ、ガスボンベ
- 使い捨ての食器類
- 食品用ラップ
- ランタン
- 災害用トイレセット
- からだ拭きシート
- 水のいらぬシャンプー
- ガムテープ
- ビニールシート



上記リストを参考に、特に乳幼児用品、高齢者用品等、災害時に配慮すべき方の用品も、家族構成に合わせて追加しましょ。

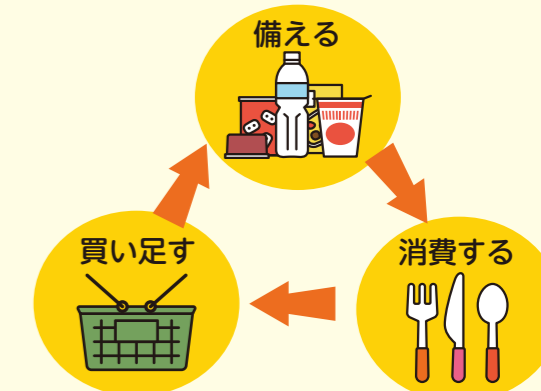
ローリングストックについて

普段から少し多めに食料品や日用品を買っておき、使った分だけ新しく買い足していくことで、常に一定量の備蓄を自宅に確保しておくことをローリングストックと言います。

日常生活の中に、非常備蓄を上手に組み込みましょ。

一対象品目の例ー

ペットボトルの水や飲み物、レトルト食品、インスタント食品、お菓子、乾麺、缶詰、乾物、漬物、カセットコンロのボンベ、ウェットティッシュ、トイレトーパー、食品用ラップ、ビニール袋、乾電池、使い捨てカイロ



感染症対策

！ 感染症対策へのご協力をお願いします

① 手洗い 正しい手の洗い方

【手洗いの前に】・爪は短く切っておきましょう
・時計や指輪は外しておきましょう

- 流水でよく手をぬらした後、石けんをつけ、手のひらをよくこすります。
- 手の甲をのばすようにこすります。
- 指先・爪の間を念入りにこすります。
- 指の間を洗います。
- 親指と手のひらをねじり洗います。
- 手首も忘れずに洗います。

石けんで洗い終わったら、十分に水で流し、清潔なタオルやペーパータオルでよく拭き取って乾かします。

② 正しいマスクの着用

- 鼻と口の両方を確実に覆う
- ゴムひもを耳にかける
- 隙間がないよう鼻まで覆う

新型コロナウイルス感染症対策 新しい生活様式

あなたとあなたの大切な人を守るため、新たなライフスタイルを実践しましょう

<p>できる限り 2m(最低1m)空けよう</p>	<p>マスクを着用しよう</p>	<p>手洗いをしよう</p>	<p>3密を回避しよう</p>
<p>通販も利用しよう</p>	<p>レジに並ぶとき 前後に距離をとろう</p>	<p>持ち帰りや デリバリーも 利用しよう</p>	<p>食事は横並びで座ろう</p>
<p>公共交通機関は混んでる 時間帯を避けよう</p>	<p>会議はオンラインを 活用しよう</p>	<p>公園はすいた時間・ 場所を選ぼう</p>	<p>不確かな情報に 惑わされない ようにしよう</p>

上記は一例です。

地域での日頃の備え：共助

自主防災組織とは

- ・災害発生時はもちろん、日頃から地域のみなさんが一緒になって防災活動に取り組むための組織を「自主防災組織」と言い、久山町では、おおむね地区ごとに組織されています。
- ・平常時には防災訓練や広報活動、災害時には初期消火、救出救護、集団避難、避難所への給食、要支援者の補助などの活動を行います。

	情報班	消火班	避難誘導班	救出救護班	給食・給水班
平常時	<ul style="list-style-type: none"> ●住民に対しての連絡体制、手段の検討 ●情報収集・伝達訓練の実施 ●防災意識の啓発、高揚に関する広報 ●公的防災機関との連携確保 	<ul style="list-style-type: none"> ●初期消火訓練の実施 ●消火用水の確保、確認 ●出火防止の啓発 	<ul style="list-style-type: none"> ●事前に避難路、避難場所を把握 ●避難誘導訓練の実施 ●避難路の安全点検 ●※危険箇所(がけ、ブロック塀)などの確認等 ●避難行動要支援者の把握 	<ul style="list-style-type: none"> ●応急手当、衛生知識の普及 ●救命講習への参加 ●応急医薬品、救助資機材の確保、点検 ●技能、ノウハウを持った住民の把握 ●救助用資機材の点検・確保 	<ul style="list-style-type: none"> ●食料、飲料水の個人備蓄についての普及啓発 ●炊き出し訓練の実施 ●炊き出し用資機材の確保、点検
災害時	<ul style="list-style-type: none"> ●災害情報を住民に対して正確かつ迅速に伝達 ●地域内の被害情報を収集し、本部へ報告 ●混乱回避、出火防止等の広報 	<ul style="list-style-type: none"> ●初期消火活動 ●※消防署、消防団の到着までの延焼拡大を防ぐのが基本です。無理はしないこと!! ●情報班と連携しての出火防止等の広報 	<ul style="list-style-type: none"> ●情報班と連携しての避難の呼びかけ ●安全な経路を選択しての避難誘導 ●避難行動要支援者の避難支援 ●避難所での安否確認 ●安否確認による救出救護班への情報伝達 	<ul style="list-style-type: none"> ●避難誘導班と連携しての速やかな救出 ●※救出活動は危険を伴う場合があるため、二次災害に十分注意してください ●負傷者の搬送、応急手当の救護 ●避難所・救護所での救護活動への協力 	<ul style="list-style-type: none"> ●食料や水、救援物資等の受入、配布 ●必要に応じて炊き出し

特に配慮を要する方々への支援

障がいのある方など、災害時特に配慮を要する方々は、災害発生時の対応に地域のみなさんの支援が必要となるため、地域で協力し合いながら、安否確認、避難所への移動、避難生活を支援しましょう。

高齢者・病人

- おんぶ（または担架、リヤカーなどを利用）して安全な場所まで避難する。
- 複数の介助者で対応する。



目の不自由な方

- 声をかけ、情報を伝える。
- 誘導する場合は、誘導する人のひじの少し上をつかんでもらい、半歩手前をゆっくり歩く。



車いすを利用している方

- 階段では2人以上が必要。
- 上りは前向き、下りは後ろ向きにして移動する。
- 介助者が1人の場合、ひもなどを用意し、おんぶして避難する。



耳の不自由な方

- 話すときは、口をハッキリと開け、相手にわかりやすいようにする。
- 手話、筆談、身振りなどの方法で正確な情報を伝える。



地震

地震発生時の時間経過別行動マニュアル

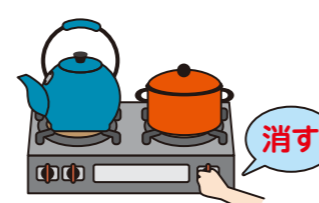
地震発生

！とにかく自分の身を守ろう！
地震だ！ まず身の安全
 大きな揺れを感じたり、緊急地震速報を受けたら、姿勢を低くし、頭を守り、揺れがおさまるまで待ちましょう。



2~5分

！しっかり火の始末で、火災防止！
大揺れがおさまった
 台所やストーブなど火の始末をしましょう。避難の時は、電気のブレーカーを落とし、ガスの元栓を閉めましょう。



5~10分

！わが家の安全確認、確保！
火の始末のあと
 家族の身の安全を確認、確保し、災害情報、避難情報を入手しましょう。また、避難可能な出口も確保しましょう。



10分~半日

！隣近所の安否確認、助け合い！
外に出たあと
 家の家具の下敷きになった人の救出や出火した場合は、消火活動を隣近所で協力して行いましょう。




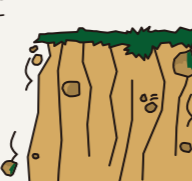

半日~3日

！2、3日は自分でしのぐ！
避難後、数日間
 地震発生後の数日間は、水、食料に加え、電気などの供給が途絶えます。この間、日頃から、生活必需品（非常用品）を準備し、自分でしのげるようにしておきましょう。



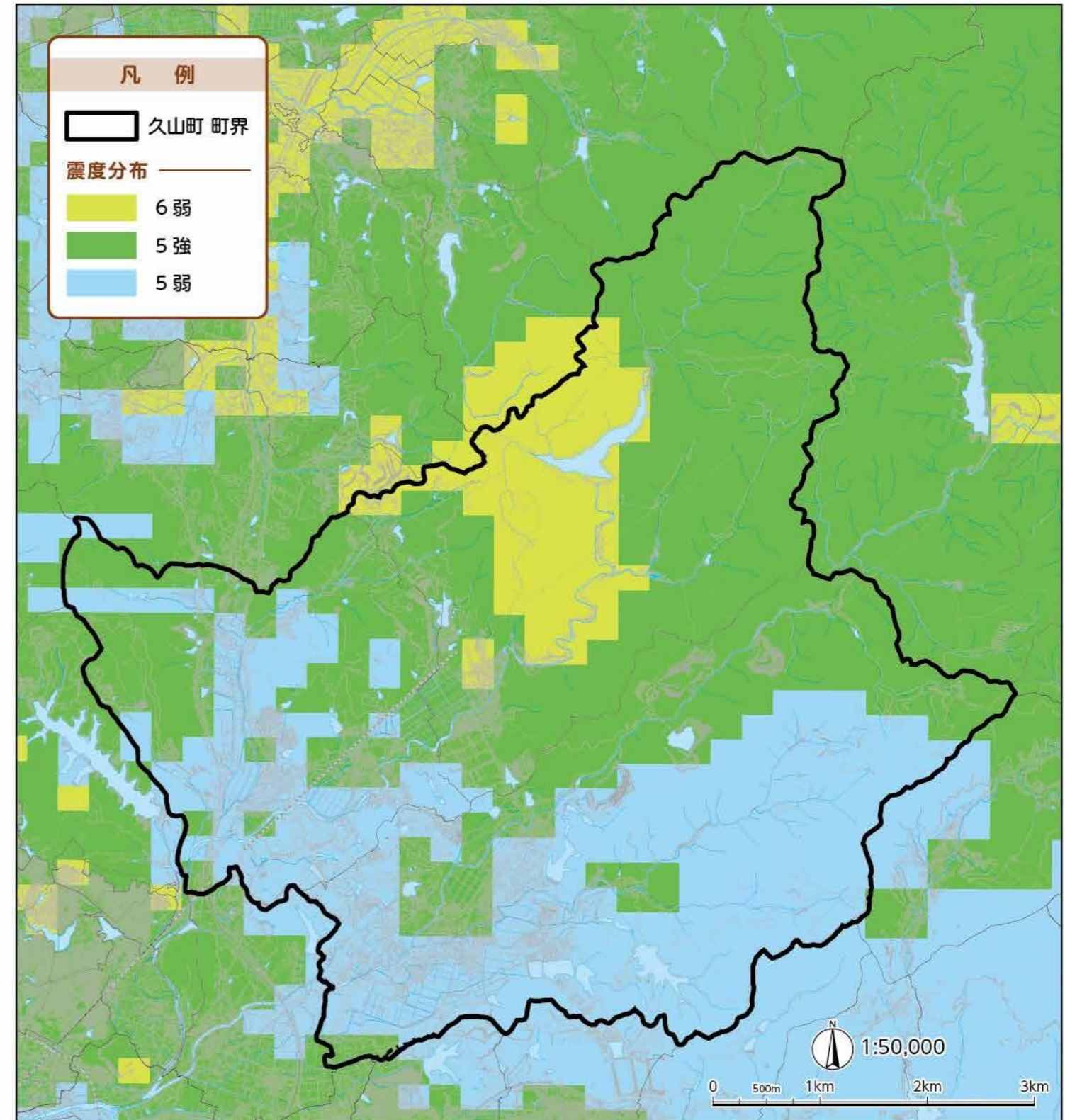
緊急地震速報を見聞きしたら…

緊急地震速報とは、地震の発生直後に、各地での強い揺れの到達時刻や震度を予想し、可能な限り素早く知らせる情報のことです。テレビ、ラジオ、防災行政無線、携帯電話、施設の館内放送などで入手できます。見聞きしてから数秒~数十秒後に強い揺れが始まりますので、この間に身を守るための行動をとってください。ただし、震源域に近い地域では「緊急地震速報」が強い揺れに間に合わないことがあります。

<p>家庭では…</p> <ul style="list-style-type: none"> ●頭を保護し、丈夫な机の下などに隠れる。 ●あわてて外へ飛び出さない。 	<p>屋外では…</p> <ul style="list-style-type: none"> ●ブロック塀などの倒壊に注意する。 ●看板や割れたガラスの落下に注意し、ビルのそばから離れる。 	<p>人がおおぜいいる施設では…</p> <ul style="list-style-type: none"> ●係員の指示に従う。 ●落ち着いて行動する。 ●あわてて出口に走り出さない。
<p>自動車運転中は…</p> <ul style="list-style-type: none"> ●あわててブレーキをかけない。 ●ハザードランプを点灯し、揺れを感じたら路肩に寄せてゆっくり停止する。 	<p>山やがけ付近では…</p> <ul style="list-style-type: none"> ●落石やがけ崩れに注意する。 	<p>エレベーターでは…</p> <ul style="list-style-type: none"> ●全ての階のボタンを押して、停止した階で、すぐに降りる。 

地震揺れやすさマップ

地震揺れやすさマップは、「福岡県地震に関する防災アセスメント調査報告書」（平成24年3月発行）に基づいて作成したものです。西山断層帯の中央下部を震源とした場合の震度分布を地図上に表しております。※西山断層帯は、福岡県宗像市沖ノ島付近から朝倉市にかけて分布する活断層帯です。



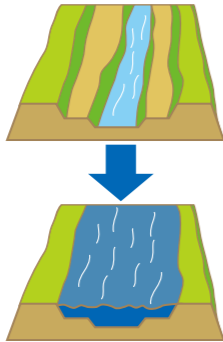
風水害・洪水・台風

強い雨が広範囲に、長時間続くときに、洪水災害が発生する危険性が高まります。発生メカニズムを知り、河川やため池など決壊の前兆に注意しましょう！

洪水の基礎知識

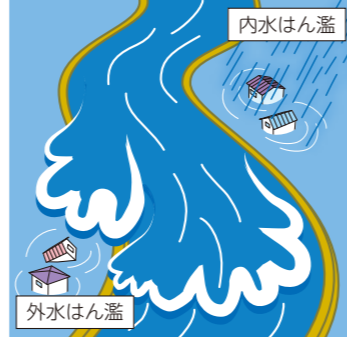
洪水

洪水とは大雨によって、川の水の量がふだんより、いちじるしく増えた状態をいいます。河原へ行くと広い敷地のわりに細い川しか流れていませんがそれがふだんの姿です。ところが川幅いっぱいにおしよせると、広い河原も水の下にかくれて見えません。このように異常に水が増えたときを「洪水」といいます。



はん濫

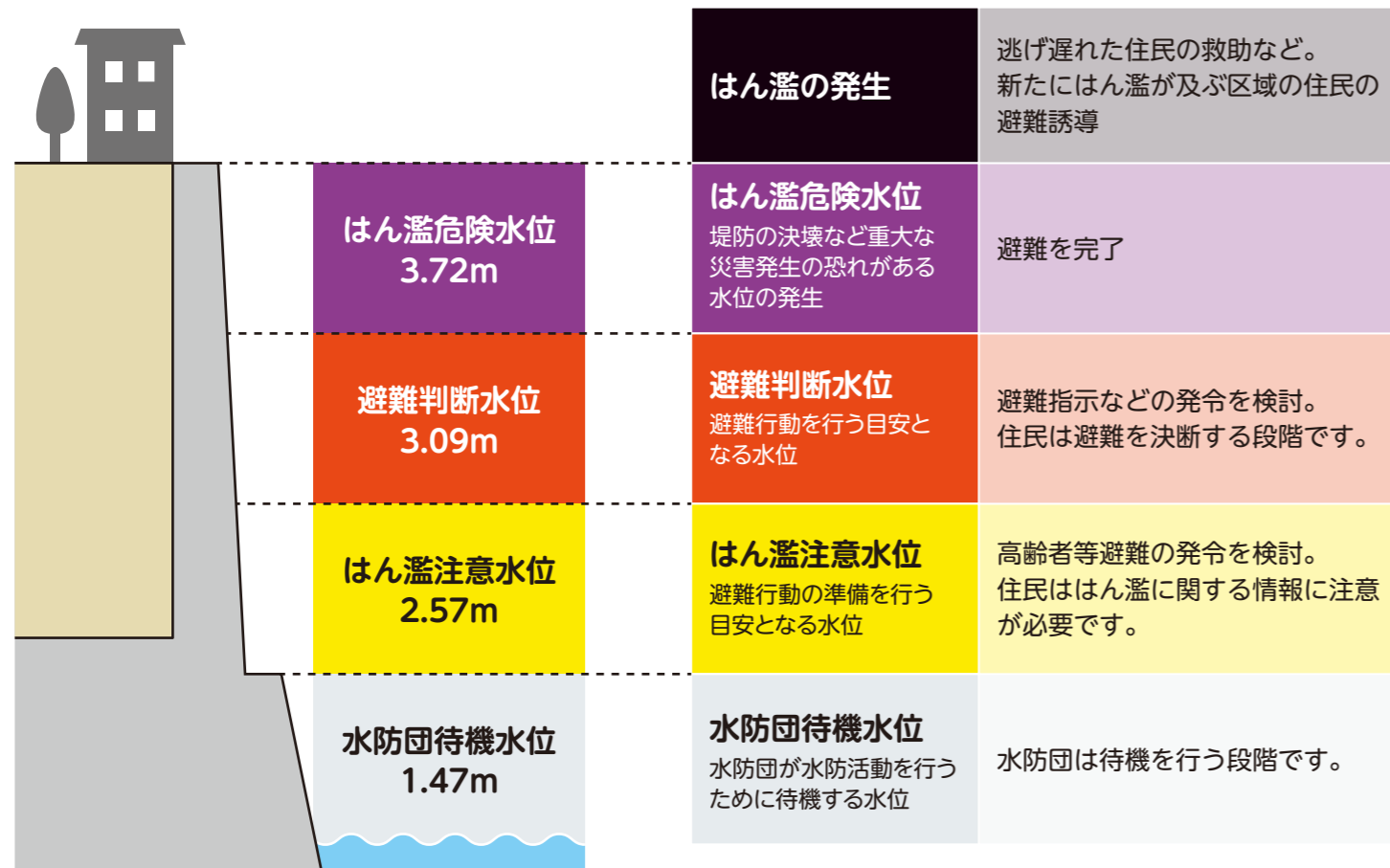
はん濫とは、雨などによって、街や農地などに水があふれることで、川から水があふれることを「外水はん濫」といいます。川から水があふれたのではなく、街や農地に降った雨がそのままたまってあふれることを「内水はん濫」といいます。



右記のような前触れに注意して、危険を感じたら速やかに避難しましょう。

- 水かさが増し、堤防に亀裂が生じたとき
- 堤防の側面から水が漏れ出したとき
- 増水が早く、水が堤防を越えそうとき
- 水が激流となって堤防の土が削り取られたり、護岸が壊れ始めたとき
- 堤防近くの地盤から水が噴き出すとき

参考) 多々良川(金川橋／篠栗町篠栗4971付近)水防基準水位



※福岡県総合防災情報 水位情報を参照

大雨注意報・警報・特別警報の発表基準

大雨注意報

表面雨量指数基準が
18以上

大雨警報

表面雨量指数基準が
28以上

大雨特別警報

台風や集中豪雨により、数十年に一度の降雨量となる大雨が予想される場合、若しくは、数十年に一度の台風や同程度の温帯低気圧により大雨になると予想される場合に発表します。

※表面雨量指数は、短期的強雨による浸水リスクの高まりを示す指標で、降った雨が地表面にたまっている量を示す指数です。

雨の強さと降り方

1時間雨量(mm)	10以上～20未満	20以上～30未満	30以上～50未満	50以上～80未満	80以上～
予報用語	やや強い雨	強い雨	激しい雨	非常に激しい雨	猛烈な雨
人の受けるイメージ	ザーザーと降る	どしゃ降り	バケツをひっくり返したように降る	滝のように降る(ゴーゴーと降り続く)	息苦しくなるような圧迫感がある。恐怖を感じる
起こる現象	雨の音で話し声がよく聞き取れない。	ワイパーを速くしても見づらい。側溝や下水、小さな川があふれる。	山崩れ、がけ崩れが起きやすくなり危険地帯では避難の準備が必要。	マンホールから水が噴出する。土石流が起りやすい。多くの災害が発生する。	雨による大規模な災害の発生する恐れが強く、厳重な警戒が必要。

風の強さと吹き方

10m/秒以上～15m/秒未満	15m/秒以上～20m/秒未満	20m/秒以上～30m/秒未満	30m/秒以上～
やや強い風	強い風	非常に強い風	猛烈な風
風に向かって歩きにくくなり、傘がさせない。	風に向かって歩けなくなり、転倒する人もいる。	しっかりと身体を確保しないと転倒する。風で飛ばされた物で窓ガラスが割れる。	立ってられない状態になり、屋外の行動は危険。樹木が根こそぎ倒れはじめる。

台風

日本には毎年多数の台風が接近あるいは上陸し、たびたび大きな被害をもたらします。台風の接近が予想される際は、台風情報に十分注意し、被害のないように備えることが必要です。

大きさ	風速 15m/秒以上の半径	強さ	最大風速
大型(大きい)	500km以上～800km未満	強い	33m/秒以上～44m/秒未満
超大型(非常に大きい)	800km以上	非常に強い	44m/秒以上～54m/秒未満
		猛烈な	54m/秒以上

集中豪雨

集中豪雨は、限られた地域に、突発的に短時間に集中して降る豪雨で、梅雨の終わりごろによく発生します。発生予測は比較的困難で、中小河川の氾濫、土砂崩れ、がけ崩れなどによる大きな被害をもたらすことがありますので、気象情報に十分注意し、万全の対策をとることが必要です。

- ラジオやテレビなどの気象情報に注意する。
- 町や防災関係機関の広報をよく聞いておく。
- 停電に備え懐中電灯や携帯ラジオを用意する。
- 非常時持出品を準備しておく。
- 早く帰宅し、家族と連絡を取り、非常時に備える。

- 飲料水や食料を数日分確保しておく。
- 浸水に備えて家財道具は高い場所へ移動する。
- 危険な地域では、いつでも避難できるよう準備をする。

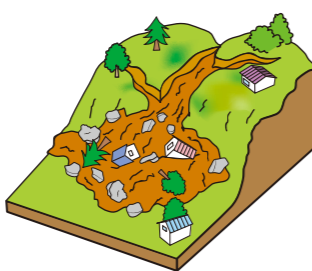
つねに気象情報には、注意しておきましょう！



土砂災害

土砂災害の前触れに注意し、気がついた場合には速やかに避難しましょう。

土砂災害の種類

急傾斜地崩壊(がけ崩れ)	土石流	地すべり
 <p>がけ崩れは、地中にしみ込んだ水分で斜面が突然崩れ落ちます。瞬時に崩れ落ちるため、避難が遅れがちになります。また、地震が原因で起こることもあります。</p>	 <p>土石流は、谷筋で起きます。大量の土・石・砂等が集中豪雨など大量の水と混じり合って流れてくるので、速度が速く大きな破壊力を持っています。</p>	 <p>地すべりは、粘土などの滑りやすい地盤が一度に広い範囲で動き出します。速度はゆるやかですが、発生すると広い範囲で道路や建物に被害をもたらします。</p>
予兆現象	予兆現象	予兆現象
<ul style="list-style-type: none"> ●がけから小石がぱらぱら落ちてくる ●がけから水が湧き出る ●がけに割れ目が見える 	<ul style="list-style-type: none"> ●急に川の水がにごり流木が混ざる ●雨が降り続けているのに川の水位が下がる ●山鳴りがする 	<ul style="list-style-type: none"> ●地面にひび割れができる ●斜面から水が噴き出す ●沢や井戸の水がにごる

土砂災害警戒区域・土砂災害特別警戒区域について

県では、土砂災害のおそれがある区域を「土砂災害警戒区域(イエローゾーン)」に、さらにそのなかでも建築物に損壊が生じ、住民に著しい危害が生じるおそれのある区域を「土砂災害特別警戒区域(レッドゾーン)」に指定しています。住まいがある土地が警戒区域に入っていないかハザードマップで確認しておき、家が当該区域にある場合は早めに避難するようにしてください。

土砂災害警戒区域(イエローゾーン)..... 土石流・がけ崩れなどの土砂災害が発生した場合に、住民等の生命又は身体に危害が生じるおそれがあると認められる区域

土砂災害特別警戒区域(レッドゾーン)..... 土石流・がけ崩れなどの土砂災害が発生した場合に、建築物に損壊が生じ住民等の生命又は身体に著しい危害が生じる恐れがあると認められる区域

火災

1人で消せるだろうと考えず、隣近所に火事を知らせ、すみやかに119通報を。初期消火で火事を消せなかったら、すばやく避難しましょう。



初期消火の3原則

- 早く知らせる**
 - 「火事だ」と大声を出し、隣近所に援助を求める。声が出なければやかんなどを叩き、異変を知らせる。
 - 小さな火でも119番に通報する。当事者は消火に当たり、近くの人に通報を頼む。
- 早く消火する**
 - 出火から3分以内が消火できる限度。
 - 水や消火器だけで消そうと思わず、座布団で火を叩く、毛布で覆うなど手近なものを活用する。



火元別初期消火のコツ	油なべ あわてて水をかけるのは厳禁。消火器がなければ濡らした大きめのタオルやシーツを手前からかけ、空気を遮断して消火を。	ストーブ 消火器は直接火元に向けて噴射する。石油ストーブの場合は粉末消火器で。消火器がない場合は、水にぬらした毛布などを手前からすべらせるようにかぶせ、空気を遮断する。	衣類 着衣に火がついたら転げまわって消すのも方法。髪の毛の場合なら衣類(化繊は避ける)やタオルなどを頭からかぶる。
	風呂場 風呂場からの出火に気づいても、いきなり戸を開けるのは禁物。空気が室内に供給されて火勢が強まる危険がある。ガスの元栓を締め、徐々に戸を開けて一気に消火を。	電気製品 いきなり水をかけると感電の危険が。まずコードをコンセントから抜いて(できればブレーカーも切る)消火を。	カーテン・ふすま カーテンやふすまなどの立ち上がり面に火が燃え広がったら、もう余裕はない。引きちぎり蹴り倒して火元を天井から遠ざけ、その上で消火を。

- 早く逃げる**
 - 天井に火が燃え移った場合は、速やかに避難する。
 - 避難するときは、燃えている部屋の窓やドアを閉めて空気を絶つ。

消火器の使い方

消火器の強化液



安全ピンに指を
かけ上に引き抜く

ホースをはずして
火元に向ける

レバーを強く
握って噴射する

消火器のかまえ方

- 風上に回り風上から消す。炎にはまともに正対しないように。
- やや腰を落として姿勢をなるべく低く。熱や煙を避けるように構える。
- 燃え上がる炎や煙にまどわされずに燃えているものにノズルを向け、火の根元を掃くように左右に振る。

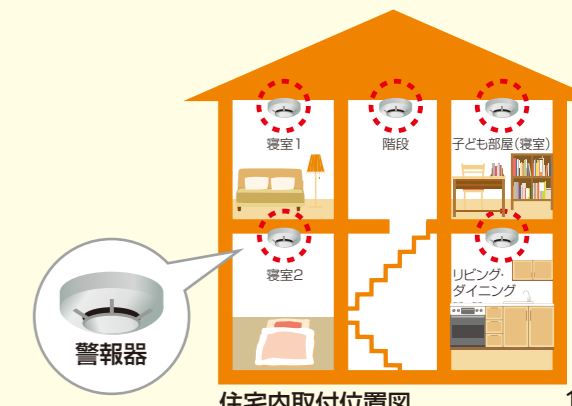
火災予防が一番!!

住宅用火災警報器の設置義務化

消防法の改正により、住宅用火災警報器の設置が義務付けられました。火災による死傷者を無くすためにも設置しましょう。

火災警報器の設置場所

- 寝室...すべての寝室(子供部屋や老人の居室など就寝に使われている場合は対象となります)への設置が必要です。
- 階段...寝室のある部屋の階段の天井などへの設置が必要です。
- 台所...台所への設置もおすすめします。



避難情報の種類ととるべき行動

集中豪雨や台風によって、水害や土砂災害などの災害が発生するおそれがあるとき、どの情報をもとに、どのタイミングで避難をするべきか？ それぞれの状況に応じて避難できるよう、災害発生の危険度と住民の方々が取るべき行動を5段階の「警戒レベル」を用いてお伝えします。

警戒レベル	状況	住民が取るべき行動	行動を促す情報
5	災害発生又は切迫	命の危険 直ちに安全確保！	緊急安全確保※1
~~~~~ <警戒レベル4までに必ず避難！> ~~~~~			
<b>4</b>	災害のおそれ高い	危険な場所から全員避難	避難指示
<b>3</b>	災害のおそれあり	危険な場所から高齢者等は避難※2	高齢者等避難
<b>2</b>	気象状況悪化	自らの避難行動を確認	大雨・洪水・高潮注意報(気象庁)
<b>1</b>	今後気象状況悪化のおそれ	災害への心構えを高める	早期注意情報(気象庁)

※1 市町村が災害の状況を確実に把握できるものではない等の理由から、警戒レベル5は必ず発令されるものではない。  
 ※2 警戒レベル3は、高齢者等以外の人も必要に応じ、普段の行動を見合わせ始めたり危険を感じたら自主的に避難するタイミングである。  
 ※3 警戒レベル3以上は市町村が発令する。

## 自主避難について

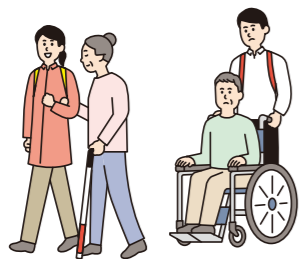
### 危険を感じたらすぐ避難しましょう

局地的集中豪雨のような、突発的な異常気象の場合には、町からの避難情報が間に合わないケースもあります。その際には、身の危険を感じたら安全な場所にいる家族や知人の家、避難所などへ自主的に避難しましょう。  
 ※開設している自主避難所については、久山町 総務課に電話で確認してください。

## 避難に関する2つの情報

災害の危険が迫って居住者の避難が必要になった場合に、避難に関する情報が発令されます。2種類の情報は状況の深刻度に応じて出されるので、各情報に応じた避難行動をとりましょう。

**1 高齢者等避難**  
 人的被害の発生する危険性が高まった状況。



- 避難するのに時間がかかる高齢者など災害時要配慮者やその支援者は避難を始めます。
- 通常の避難行動ができる人は、家族との連絡、非常時持出品の用意など避難の準備を始めます。

**2 避難指示**  
 人的被害の発生する危険性が非常に高まった状況、あるいはすでに人的被害が発生した状況。



- 避難中の住民は直ちに避難をおこなってください。
- まだ避難していない住民は直ちに避難します。万一避難する余裕がなければ、命を守る最低限の行動を取ります(2階以上の安全で高い場所に避難)。

# 防災対策 & チェック

事前に準備出来ているか、チェック☑しましょう。

## 家の中の安全対策

### □家の中に逃げ場としての安全な空間をつくる

部屋がいくつもある場合は、人の出入りが少ない部屋に家具をまとめて置く。無理な場合は、少しでも安全なスペースができるよう配置換える。



### □寝室、子どもやお年寄りのいる部屋には家具を置かない

就寝中に地震に襲われると危険。子どもや、お年寄り、病人などは逃げ遅れる可能性がある。

### □安全に避難するため、出入口や通路にもものを置かない

玄関などの出入口までの通路に、家具など倒れやすいものを置かない。また、玄関にいろいろものを置くと、いざというときに、出入口をふさいでしまうことも。

### □家具の転倒を防ぐ

家具と壁や柱の間に遊びがあると倒れやすい。家具の下に小さな板などを差し込んで、壁や柱によりかかるように固定する。また、金具や固定器具を使って転倒防止策を万全にする。

#### □タンス・本棚

L字金具や支え棒などで固定する。二段重ねの場合はつなぎ目を金具でしっかり連結しておく。



#### □食器棚

L字金具などで固定し、棚板には滑りにくい材質のシートやふきんなどを敷く。重い食器は下の方に置く。扉が開かないように止め金具をつける。

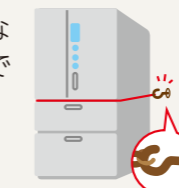
#### □照明

チェーンと金具を使って数か所止める。蛍光灯は蛍光管の両端を耐熱テープで止めておく。



#### □冷蔵庫

扉と扉の間に針金などを巻いて、金具で壁に固定する。



#### □テレビ

できるだけ低い位置に固定しておく。



#### □ピアノ

本体にナイロンテープなどを巻きつけ、取りつけた金具などで固定する。脚には、すべり止めをつける。

## 家の周囲の安全対策

### □屋根

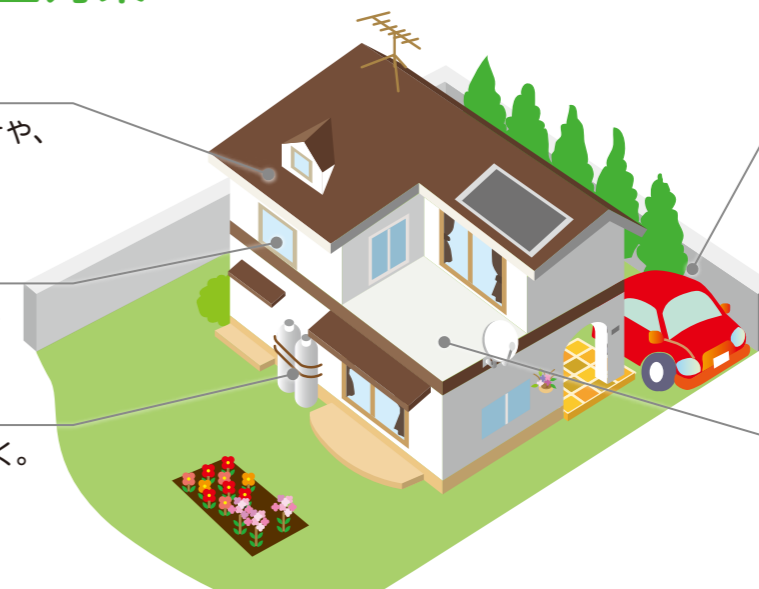
不安定な屋根のアンテナや、屋根瓦は補強しておく。

### □窓ガラス

飛散防止フィルムをはる。

### □プロパンガス

ボンベを鎖で固定しておく。



### □ブロック塀・門柱

土中にしっかりと基礎部分がないもの、鉄筋が入っていないものは危険なので補強する。ひび割れや鉄筋のさびも修理する。

### □ベランダ

植木鉢などの整理整頓を。落ちる危険がある場所には何も置かない。



# マイ・タイムラインの作成

## マイ・タイムラインとは？

「マイ・タイムライン」は、台風の接近等によって河川の水位が上昇する時に、自分自身がとる標準的な防災行動を時系列的に整理し、取りまとめる行動計画表です。

急な判断が迫られる洪水発生時に、自分自身の行動のチェックリスト、また判断のサポートツールとして役立ちます。

自分の家族構成や生活環境に合った避難に必要な情報・判断・行動を把握してマイ・タイムラインを作成し、「自分の逃げ方」を手に入れましょう。



## マイ・タイムラインを作成したあとは…

今回検討したマイ・タイムラインは基礎的なもので、例えば、洪水が発生する時間帯によってはさらに早めの避難が必要になるなど、実際の洪水時を想定した応用動作が想定されます。今後、家族や地域で話し合うなどし、防災行動を追加していくとよいでしょう。

またマイ・タイムラインは、一度作ったらおしまいというものではありません。家族が増えたとき、職場や学校が変わったときなど、自分自身の環境の変化に応じて、あらためて見直し、必要な防災行動を整理していきましょう。



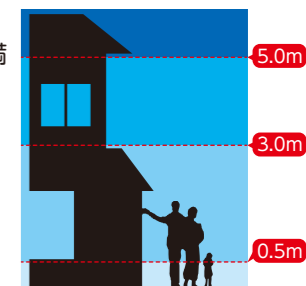
# マイ・タイムライン作成のためのチェックシート

## 洪水ハザードマップや浸水想定区域図でチェック

●あなたの住んでいる場所の浸水深は？

_____ m

- 5.0m～10.0m未満
- 3.0m～5.0m未満
- 0.5m～3.0m未満
- 0.5m未満



●あなたの住んでいる場所は  
家屋倒壊氾濫想定区域（氾濫流）ですか？

はい  いいえ

ハザードマップ  
ポータルサイト⇒



洪水浸水  
想定区域図⇒



洪水ハザードマップや  
洪水浸水想定区域図は  
ここからチェック！

※「わがまちハザードマップ」で各市町が作成したハザードマップを  
チェックしましょう！

## マイ・タイムライン使用時の心得

洪水は自然現象であり、マイ・タイムラインがあれば常に安全ということではなく、マイ・タイムラインで想定したとおりに進行するとは限りません。マイ・タイムラインを作成すると、自分と家族がとるべき防災行動の「何時」が明確になりますが、注意点もあります。

マイ・タイムライン上の時間は、時計のように進むわけではありません。例えば、タイムライン上で氾濫発生3時間前となっても、水防団（消防団）の水防活動によって進行を遅らせることができ、結果として3時間経っても氾濫に至らない場合も想定されます。そのため、実際の洪水においてマイ・タイムラインを使用する際には、次の心得をふまえて行動してください。

**心得 1** あくまで行動の目安として認識する。

**心得 2** 気象警報や避難情報等をこまめに収集・確認する。

**心得 3** 収集・確認した情報をもとに、マイ・タイムラインを参考にして、  
臨機応変に防災行動の実行を判断する。



**洪水はマイ・タイムラインで想定したとおりに進行するとは限りません！**

### 洪水によって異なります

台風の進み方  
雨の降り方  
川の水位の上がり方  
氾濫した際の浸水深  
氾濫した際の浸水継続時間

### 洪水に応じて臨機応変に 発表・発令されます



気象警報の発表  
洪水予報の発表  
避難情報の発令

### 洪水に応じて臨機応変に 対応しましょう

みなさんの  
備え



## 家庭の状況チェック

- 車  無  有 ( ) 台
- ペット  無  有 ( )
- 持病薬  無  有 ( )
- 避難に支援が必要な人（高齢者、障がい者、乳幼児、妊婦など）  
 無  有 ( )

## 避難先のチェック

●あなたが避難する場所

洪水ハザードマップに記載されている避難所

{ (移動手段: ) 移動時間: 約 (分)}

親戚・知人の家

{ (移動手段: ) 移動時間: 約 (分)}

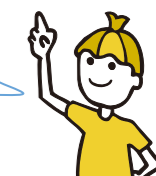
その他（近くの浸水しない場所）

{ (移動手段: ) 移動時間: 約 (分)}

●あなたが避難する場所までのルート考えたことはありますか？

はい  いいえ

避難先は複数  
考えておこう！



# マイ・タイムラインの作成

「台風や前線が発生」してから「川の水が氾濫」するまでを知ろう！！

地震はいきなりやってくるけど、洪水はだんだんやってくるよ！

確認  
してみよう！

## 「台風や前線が発生」してから「川の水が氾濫」するまで

5~3日前	1 台風や前線が発生	天気予報で台風がきたって 言っているよ。 まだ雨や風は強くないね。	
1日前	2 台風や前線が近づいて、 雨や風がだんだん強くなる	雨や風が強くなると、 お出かけは大変だね。	
半日前	3 雨が集まって、川の水が だんだん増える	自分がいるところで降って いなくても、上流で雨が 降れば川の水は増えてくるよ。	
7時間前	4 激しい雨で、川の水がどんど 増えて、河川敷にも水が流れる	このまま増えると、 川の水があふれるかも。	
5時間前 3時間前	5 川の水がいっぱい あふれそう	もうギリギリ。川の水が あふれる前に、安全な ところへ逃げなきゃ！	
0時間	6 川の水が氾濫	川の水が一気に広がって、 街じゅうが水びたし。 こうなると動けないぞ。	

## 『マイ・タイムライン』をつくってみよう！！

「台風や前線が発生」してから「川の水が氾濫」するまでの  
そなえをいつから行動するか書いてみよう！

みんなが考えた「台風や前線が  
発生」してから「川の水が氾濫」  
するまでの備えが  
「マイ・タイムライン」だよ！



そなえまでの おおよその 時間	行政から発信される情報 黒：気象・水象情報 青：河川管理者 緑：久山町	「台風や前線が発生」 してから「川の水が 氾濫」するまで	主なそなえ	そなえの（例）
5~3 日前	●台風予報 ●台風に関する福岡県 福岡県気象情報 (随時) (警戒レベル1)	台風や前線が発生 警戒レベル1 自分がいるところで 降っていないくても、 上流で雨が降れば 川の水は増えてくるよ。	オリジナルの行動も 書き足そう！	買った物は、雨風が強くなる 前にすませておこう。
2日前	◇大雨注意報、 洪水注意報 (警戒レベル2) ●台風に関する 今後の見通し	台風や前線が 近づいて、雨や風が だんだん強くなる 警戒レベル2	雨や風が強くなると お出かけは大変！	●今後の台風や前線の 動きを調べ始める ●1週間分の薬を病院に受け取りに行く ●避難する時に持っていく物を準備する ●家の周りに風で飛ばされる ようなものはないか確認 ●テレビ、インターネット、メール等で 雨や川の様子に注意 ●家族と連絡を取りあう
1日前				
半日前	水防団待機水位到達 氾濫注意水位到達 →洪水予報 (氾濫注意情報) 発表 →高齢者等避難 (警戒レベル3) を発令	雨が集まって、川の 水がだんだん増える 激しい雨で、川の水が どんどん増えて、 河川敷にも水が流れる 警戒レベル3 相当	必要な情報は自分で 調べる必要があるね。 このまま増えると、 川の水があふれるかも。	●住んでいる所と上流の 雨量を調べ始める ●ハザードマップで避難場所、 避難手段を確認 ●携帯・メール等で 高齢者等避難を受信 ●川の水位を調べ始める ●携帯電話の充電 ●避難しやすい服装に 着替える ●町内の高台への避難の開始を判断
5時間前	避難判断水位到達 →洪水予報 (氾濫警戒情報) 発表 →避難指示 (警戒レベル4) を発令	川の水がいっぱい あふれそう 警戒レベル4 相当		●携帯・メール等で 避難指示を受信 ●川の水位をインターネットで確認 ●安全な所へ移動を始める
3時間前	氾濫危険水位到達 →洪水予報 (氾濫危険情報) 発表 →緊急速報メール (河川氾濫のおそれ がある情報)	川の水があふれる前に、 安全なところへ逃げなきゃ！		●川の水位をインターネットで確認 ●町内の高台への避難を完了 ●携帯メールで緊急速報メールを受信
0時間	氾濫が発生 →洪水予報 (氾濫発生情報) 発表 →緊急速報メール (氾濫が発生した情報) →災害発生情報 (警戒レベル5) を発令	川の水が氾濫 警戒レベル5 相当 川の水が一気に 広がって、街じゅうが 水びたし。 こうなると動けないぞ！	命を守ろう！	●テレビで洪水予報の確認 ●携帯メールで緊急速報メールを受信

気象庁が発表する大雨注意報等の発表時間は、イメージで記載しています。  
避難指示等のタイミングは状況によって異なります。町の発信情報に注意してください。

# 久山町 ハザードマップ

あなたの、そして家族の命を守るためのハザードマップです。関係のあるページを必ずご覧ください。

このハザードマップは、土砂災害防止法に基づく「土砂災害警戒区域」及び「土砂災害特別警戒区域」、また大雨による浸水が予測される「洪水浸水想定区域」などの危険箇所や避難場所などを記載したマップです。このマップを基礎的な情報として、普段生活している地域の状況（危険箇所など）を確認し、災害発生の際の避難行動に役立ててください。

いざという時の連絡先	久山町役場	大字久原3632	☎092-976-1111
	久山交番	大字山田1689-24	☎092-976-1767
	中部消防署	粕屋町大字大隈55-1	☎092-938-3216
	警察	110番(☎939-0110 粕屋警察署)	
わが家の緊急連絡先	家族の名前		
	血液型		
	会社・学校の電話番号		
	携帯電話番号		

### 凡例

**土砂災害警戒区域等**

- 土砂災害警戒区域
- 土砂災害特別警戒区域

**洪水浸水想定区域**

- 5.0m～10.0m未満
- 3.0m～5.0m未満
- 0.5m～3.0m未満
- 0.5m未満

**その他の危険箇所**

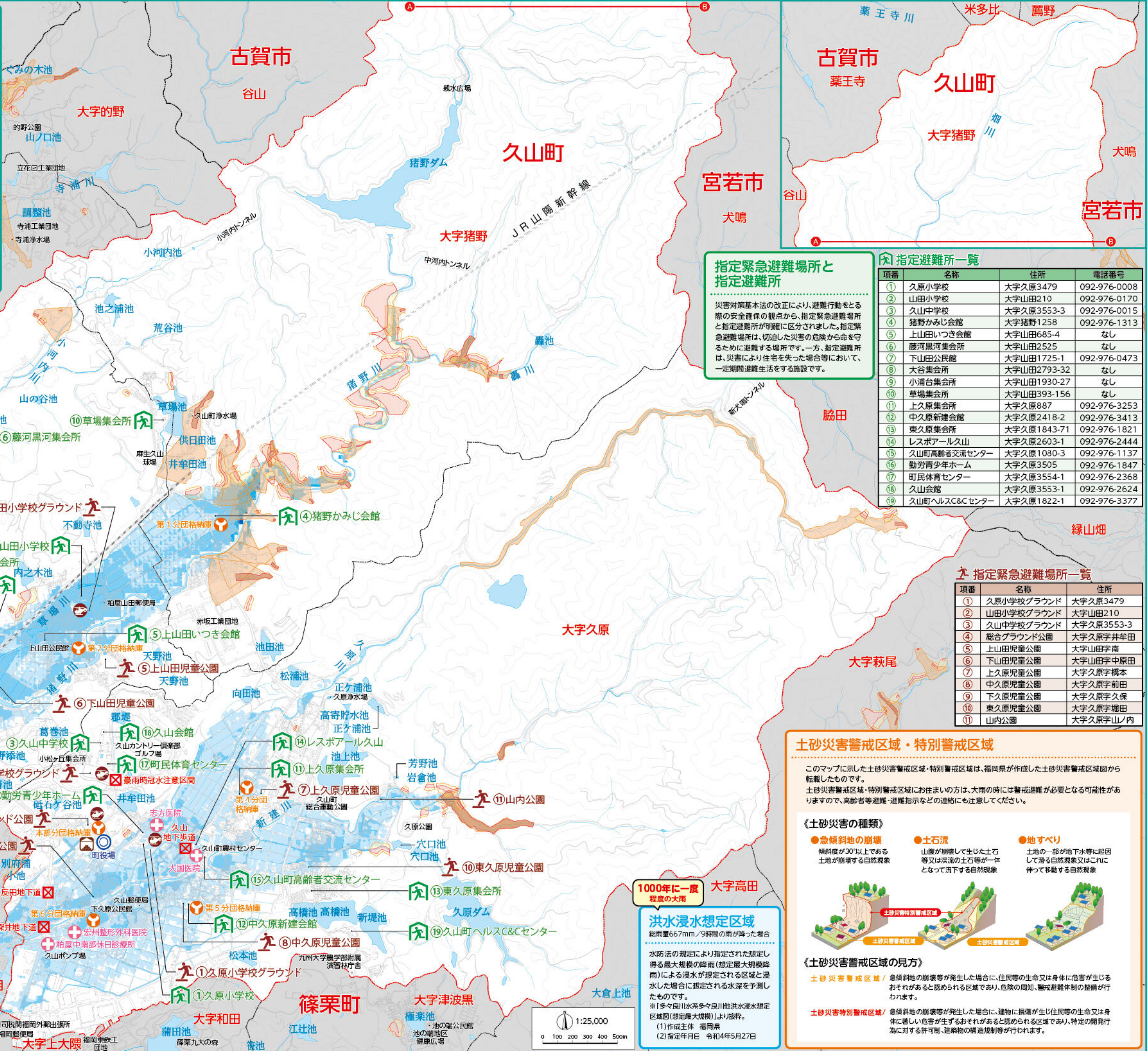
- 大雨時に冠水する恐れのある箇所
- 急傾斜地の崩壊
- 特別警戒区域
- 警戒区域

**防災関連施設**

- 町役場
- 交番
- 消防施設
- 水防倉庫
- 医療機関
- 臨時ヘリポート

**避難所・避難場所**

- 指定避難所(兼指定緊急避難場所)
- 指定緊急避難場所



**指定緊急避難場所と指定避難所**

災害対策基本法の改正により、避難行動をとる際の安全確保の観点から、指定緊急避難場所と指定避難所が明確に区分されました。指定緊急避難場所は、切迫した災害の危険から命を守るために避難する場所です。一方、指定避難所は、災害により住宅を失った場合等において、一定期間避難生活をする施設です。

#### 指定避難所一覧

項番	名称	住所	電話番号
①	久原小学校	大字久原3479	092-976-0008
②	山田小学校	大字山田210	092-976-0170
③	久山中学校	大字久原3553-3	092-976-0015
④	猪野かみじ会館	大字猪野1258	092-976-1313
⑤	上山田いきき会館	大字山田685-4	なし
⑥	藤河黒河集会所	大字山田2525	なし
⑦	下山田公民館	大字山田1725-1	092-976-0473
⑧	大谷集会所	大字山田2793-32	なし
⑨	小浦台集会所	大字山田1930-22	なし
⑩	草場集会所	大字山田393-156	なし
⑪	上久原集会所	大字久原887	092-976-3253
⑫	中久原新集会館	大字久原2418-2	092-976-3413
⑬	東久原集会所	大字久原1843-71	092-976-1821
⑭	レスポータル久山	大字久原2603-1	092-976-2444
⑮	久山町高齢者交流センター	大字久原1080-3	092-976-1137
⑯	勤労青少年ホーム	大字久原3505	092-976-1847
⑰	町民体育センター	大字久原3554-1	092-976-2368
⑱	久山会館	大字久原3553-1	092-976-2624
⑲	久山町ヘルス&C&Cセンター	大字久原1822-1	092-976-3377

#### 指定緊急避難場所一覧

項番	名称	住所
①	久原小学校グラウンド	大字久原3479
②	山田小学校グラウンド	大字山田210
③	久山中学校グラウンド	大字久原3553-3
④	総合グラウンド公園	大字久原字井井田
⑤	上山田児童公園	大字山田字南
⑥	下山田児童公園	大字山田字中原田
⑦	上久原児童公園	大字久原字橋本
⑧	中久原児童公園	大字久原字前田
⑨	下久原児童公園	大字久原字久保
⑩	東久原児童公園	大字久原字堀田
⑪	山内公園	大字久原字山ノ内

**土砂災害警戒区域・特別警戒区域**

このマップに示した土砂災害警戒区域・特別警戒区域は、福岡県が作成した土砂災害警戒区域図から転載したものです。土砂災害警戒区域・特別警戒区域にお住まいの方は、大雨の時には警戒避難が必要となる可能性がありますので、高齢者等避難・避難指示などの連絡にも注意してください。

#### 《土砂災害の種類》

- 急傾斜地の崩壊**: 傾斜度が30°以上である急傾斜地が崩壊する自然現象
- 土石流**: 山腹が崩壊して生じた土石等が水と混ざり合って流動する自然現象
- 地すべり**: 土壌の一部が地下水等に起因して滑り落ちる自然現象

#### 《土砂災害警戒区域の見方》

**土砂災害警戒区域**: 急傾斜地の崩壊が発生した場合に、住民等の生命又は身体に危害が生じるおそれがあると認められる区域であり、危険の周知、警戒避難体制の整備が行われます。

**土砂災害特別警戒区域**: 急傾斜地の崩壊が発生した場合に、建物に被害が生じ住民等の生命又は身体に著しい危害が生ずるおそれがあると認められる区域であり、特定の開発行為に対する許可制、建築物の構造規制等が行われます。

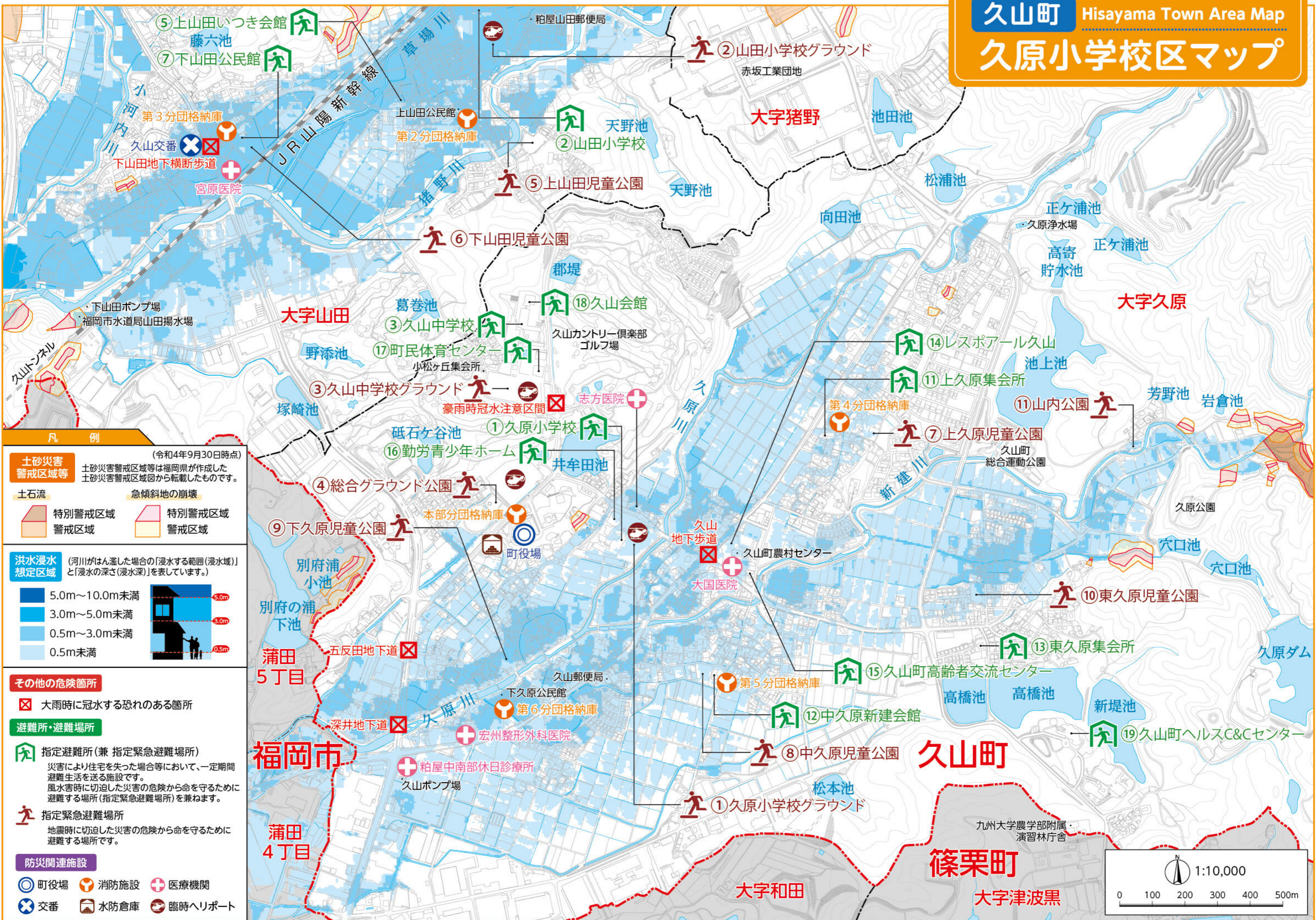
#### 100年に一度程度の大雨

**洪水浸水想定区域**

総雨量667mm、9時頃の雨が降った場合

水防法の規定により指定された想定し得る最大規模の降雨(想定最大規模降雨)による浸水が想定される区域と浸水した場合に想定される水深を予測したものです。

※「多々良川水系多々良川他洪水浸水想定区域図(想定最大規模)」より抜粋。  
 (1)作成主体 福岡県  
 (2)指定年月日 令和4年5月27日



凡例

(令和4年9月30日時点)

**土砂災害警戒区域等**  
土砂災害警戒区域等は福岡県が作成した土砂災害警戒区域図から転載したものです。

土石流  
急傾斜地の崩壊

特別警戒区域  
警戒区域

特別警戒区域  
警戒区域

**洪水浸水想定区域**  
(河川がはん濫した場合の「浸水する範囲(浸水域)」と「浸水の深さ(浸水深)」を表しています。)

5.0m~10.0m未満  
3.0m~5.0m未満  
0.5m~3.0m未満  
0.5m未満

**その他の危険箇所**

大雨時に冠水する恐れのある箇所

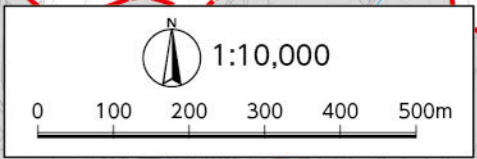
**避難所・避難場所**

指定避難所(兼 指定緊急避難場所)  
災害により住宅を失った場合等において、一定期間避難生活を送る施設です。風水害時に切迫した災害の危険から命を守るために避難する場所(指定緊急避難場所)を兼ねます。

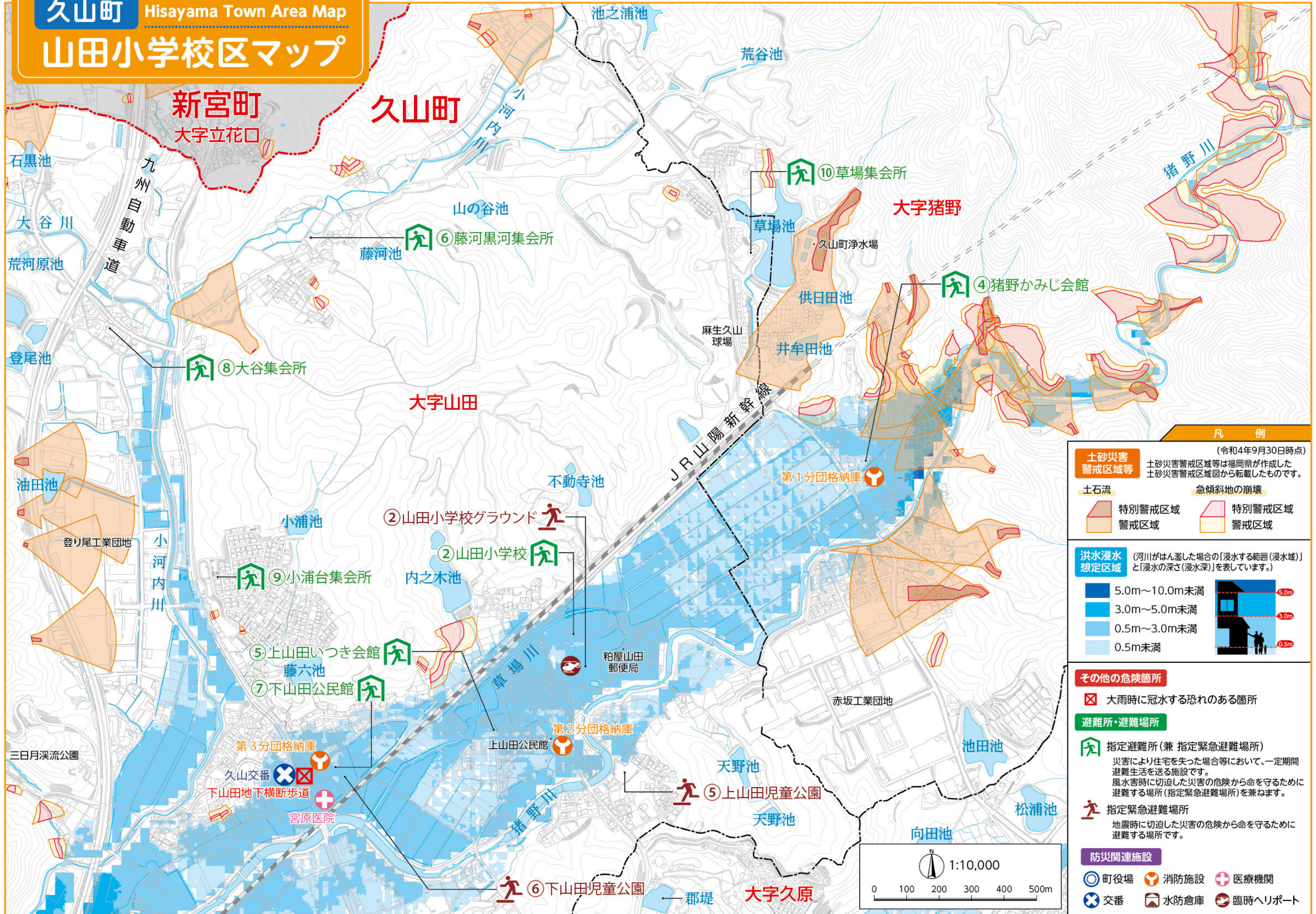
指定緊急避難場所  
地震時に切迫した災害の危険から命を守るために避難する場所です。

**防災関連施設**

町役場 消防施設 医療機関  
交番 水防倉庫 臨時ヘリポート



山田小学校区マップ



凡 例

(令和4年9月30日時点)

**土砂災害警戒区域等** 土砂災害警戒区域等は福岡県が作成した土砂災害警戒区域図から転載したものです。

**土石流** 急傾斜地の崩壊

特別警戒区域 警戒区域

特別警戒区域 警戒区域

**洪水浸水想定区域** (河川がはん濫した場合の「浸水する範囲(浸水域)」と「浸水の深さ(浸水深)」を表しています。)

5.0m~10.0m未満  
3.0m~5.0m未満  
0.5m~3.0m未満  
0.5m未満

**その他の危険箇所**

大雨時に冠水する恐れのある箇所

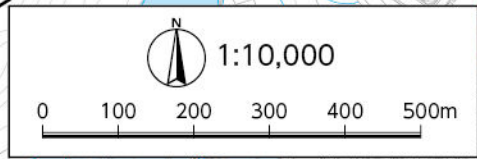
**避難所・避難場所**

指定避難所(兼 指定緊急避難場所)  
災害により住宅を失った場合等において、一定期間避難生活を送る施設です。風水害時に切迫した災害の危険から命を守るために避難する場所(指定緊急避難場所)を兼ねます。

指定緊急避難場所  
地震時に切迫した災害の危険から命を守るために避難する場所です。

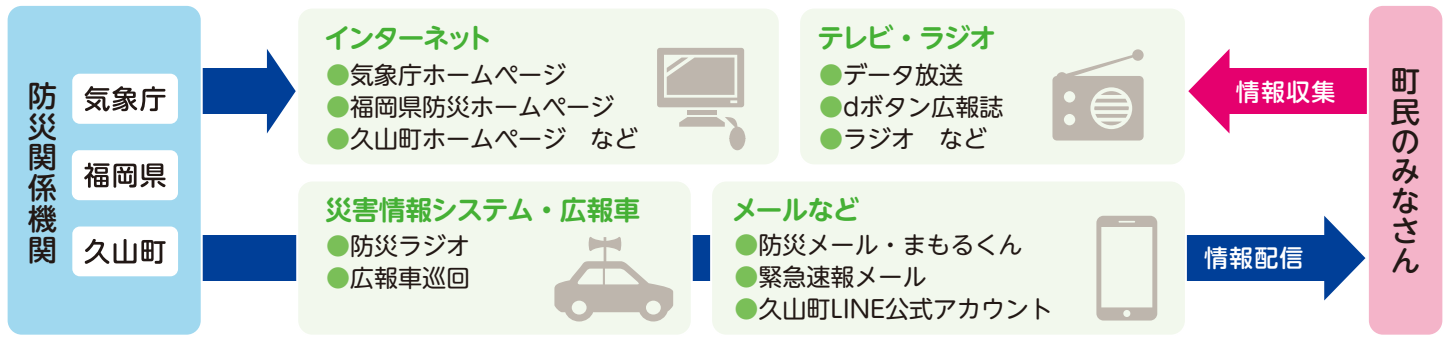
**防災関連施設**

町役場 消防施設 医療機関  
交番 水防倉庫 臨時ヘリポート



# 情報収集

## 情報伝達の流れ



## 防災情報の入手方法

### テレビ・ラジオ

地上デジタル放送では、天気予報や災害に関する情報を確認できる「データ放送」をリモコンの「@」ボタンから配信しています。NHKや民放各局で配信されており、河川水位や雨量の状況も知ることができます。



### 携帯電話・スマートフォン

#### 防災メール・まもるくん

福岡県による防災情報などのメール配信システムです。いざという時のために登録し、情報収集に役立ててください。右記アドレスに空メールを送信し、折り返し届いたメールに従って登録してください。詳しくは福岡県総務部防災危機管理局のホームページをご覧ください。

【お問い合わせ先】

福岡県防災企画課 TEL：092-643-3114

#### ▼ 防災メール・まもるくんホームページ

<https://www.bousai.pref.fukuoka.jp/mamorukun/>

#### ▼ メールアドレス

[mamoru@bousaimobile.pref.fukuoka.lg.jp](mailto:mamoru@bousaimobile.pref.fukuoka.lg.jp)



#### 緊急速報メール

久山町内にある携帯電話に緊急災害情報を一斉配信するサービスです。機種により受信できない場合や受信設定が必要な場合があります。詳しくは各携帯電話会社に問い合わせてください。

#### 久山町LINE公式アカウント

久山町LINE公式アカウントは、防災情報や新型コロナウイルス感染症に関する情報、暮らしに役立つ情報をお届けします。

#### ▼ ID検索で登録

ホーム → 友だち追加 → ID検索

ID → @hisayama

#### ▼ QRコードで登録

ホーム → 友だち追加 → QRコード読み込み

QRコード →



## インターネット



#### ▼ 久山町ホームページ

<https://www.town.hisayama.fukuoka.jp/>



#### ▼ 福岡管区気象台

<http://www.jma-net.go.jp/fukuoka/>

#### web版久山町ハザードマップ ▼

[https://www.town.hisayama.fukuoka.jp/gyosei/kurashi/anzaen_anshin/bosai/hazardmap/index.html](https://www.town.hisayama.fukuoka.jp/gyosei/kurashi/anzaen_anshin/bosai/hazardmap/index.html)



#### 気象庁ホームページ ▼

<https://www.jma.go.jp/jma/index.html>



#### ▼ 福岡県総合防災情報

[http://doboku-bousai.pref.fukuoka.lg.jp/gis_top/](http://doboku-bousai.pref.fukuoka.lg.jp/gis_top/)



#### ▼ 国土交通省川の防災情報

<https://www.river.go.jp/>

#### 福岡県土砂災害危険度情報 ▼

[http://doboku-bousai.pref.fukuoka.lg.jp/dosya/html/index_dosya.html?disp=1](http://doboku-bousai.pref.fukuoka.lg.jp/dosya/html/index_dosya.html?disp=1)



#### 九州電力送配電(停電情報) ▼

[https://www.kyuden.co.jp/td_info_teiden/fukuoka.html](https://www.kyuden.co.jp/td_info_teiden/fukuoka.html)



# 防災メモ

## 家族の連絡先

氏名	電話(会社・学校)	住所	メモ

## 親戚・知人の連絡先

氏名	電話	住所	メモ(家族との関係など)

## 避難所

避難所	
家族の集合場所	

### 災害時の連絡方法を覚えておきましょう

電話が混み合う災害時に、家族や支援者との安否確認に役立つのが、NTTの「災害用伝言ダイヤル」や携帯電話各社の「災害用伝言板」です。震度6以上の地震などの大規模災害時に稼働します。

**災害用伝言ダイヤル「171」の使い方** ※音声案内が流れるので、それに従って落ち着いて利用しましょう。

伝言の録音方法	171 ▶ 1 ▶	被災地の人の電話番号(市外局番から)	▶ 伝言を吹き込む
伝言の再生方法	171 ▶ 2 ▶	被災地の人の電話番号(市外局番から)	▶ 伝言を聞く

「災害用伝言ダイヤル171」サービスを体験できます(毎月1日、他) ●詳しくはNTT及び携帯電話会社にお問い合わせください。  
●実際に災害が発生した際には体験サービスの利用ができない場合があります。

## 連絡方法の確認

災害発生時は、家族や知人と連絡が取れなくなることがあります。事前に話し合い、連絡方法を確認しておきましょう。なお、電話会社各社では、大規模な災害発生時に災害用伝言ダイヤルなどを利用できます。事前に利用方法を確認しておきましょう。

(一社)電気通信事業者協会 <<災害時の電話の利用方法>>	<a href="https://www.tca.or.jp/information/disaster.html">https://www.tca.or.jp/information/disaster.html</a>
NTT西日本 <<災害用伝言ダイヤル171>>	<a href="https://www.ntt-west.co.jp/dengon/">https://www.ntt-west.co.jp/dengon/</a>
NTTドコモ <<災害用伝言板サービス>>	<a href="https://www.nttdocomo.co.jp/info/disaster/disaster_board/">https://www.nttdocomo.co.jp/info/disaster/disaster_board/</a>
au <<災害用伝言板サービス>>	<a href="https://www.au.com/mobile/anti-disaster/saigai-dengon/">https://www.au.com/mobile/anti-disaster/saigai-dengon/</a>
SoftBank <<災害用伝言板サービス>>	<a href="https://www.softbank.jp/mobile/service/dengon/">https://www.softbank.jp/mobile/service/dengon/</a>
ワイモバイル<<災害用伝言板サービス>>	<a href="https://www.ymobile.jp/service/dengon/">https://www.ymobile.jp/service/dengon/</a>